



## 万一の火事や地震に備えて

毎年、火災、地震に備えて避難訓練をしています。今回は、新園舎になって初めての火災に際しての避難訓練を12日(金)に実施しました。また、2歳児たんぽぽ学級も、セミナーハウスから新園舎に移り、幼稚園児と同じ建物内で過ごしていますから、いざという場合に備えて、初めての参加という形をとりました。

2歳児は親子で、2階のウッドデッキからルーフガーデンの側を通り、東側の階段を下りて園庭へ、年少から年長までの園児は、担任引率の下に、それぞれの保育室(教室)から園庭に出て、テニスコート側の専用避難通路からロータリーへ避難しました。

全員が、ロータリーへ避難するのに要した時間は、3分50秒でした。これまでの避難訓練でも3分台でしたから、2歳児を含めた全員参加の避難訓練を考えると、上出来だったと思います。図書や給食のボランティアで来園しておられた保護者の方にも訓練に参加していただきました。

初めて新園舎や新しい設備を使つての訓練となりますので、直前に担任から避難訓練の説明を行い、園内放送で、放送内容や放送の声、避難するまでの手順を丁寧に説明したことで、落ち着いて、静かに、しかも迅速に行動することができたようです。年少さんも初めてにしては、とても落ち着いた行動ができたので、驚きました。

年長さんは、つい先日、消防署見学をしたばかりでしたから、学習の成果が十分に出ていました。何時、何処で、何が起こるか分からない世の中となっています。訓練をしておけば、何が起きても、落ち着いて行動ができるのではないかと思います。

9月には、初めての引き渡し訓練を実施したいと思います。詳細については、これから連絡しますが、現実に起きた場合を考えて訓練したいと思います。



2歳児さんも親子で避難訓練

### 【避難の際の合言葉】

お：押さない  
は：走らない  
し：喋らない  
も：戻らない  
ち：近づかない



幼稚園では、火災や地震の避難訓練の時には、必ずこの言葉を用いて、子どもたちに刷り込みをしています。一度も使うことがないことに越したことはありませんが、一人ひとりが身に着けることで、いざという時に備えたいと思います。ご家庭でも、この言葉を、覚えていただくようにお願いします。

## 子育てで大切なこと

本園の子どもたちは、年中や年長になると、虫や植物に興味を持ち、図鑑で調べるようになります。絵本が好きな子は、図書コーナーで絵本を探し、集中して読んでいます。年長の竹馬乗りでは、乗れるようになるまで練習します。このように、子どもたちは、実際の体験を通して、意欲や興味・関心、粘り強さや忍耐力などを身に付けています。

こうした力を非認知能力と呼びますが、お茶の水大学が、非認知スキルと学力の関係という興味深い調査研究を行いました。その結果、非認知スキルが高い子は、学力も高いという結果が得られたようです。

そこで、保護者の適切な働きかけが、子どもの非認知スキルを高めたり、子どもの生活に大きな影響を与えたりしていると報告しています。

例えば、次の質問に対して、皆さんは、どのように答えられますか？ 小学生の保護者に対する調査項目ですが、幼児期の保護者の皆様にも考えていただきたい内容と考え、取り上げてみました。

- 子どものよいところをほめて、自信を持たせるようにしていますか？
- 子どもに努力することの大切さを話していますか？
- 子どもに、最後までやり抜くことの大切さを話していますか？
- 毎日、子どもに朝食を食べさせていますか？
- 幼稚園の出来事、友達のこと、将来や進路、社会の出来事やニュースなどについて話していますか？
- テレビ、ビデオ、DVD、ゲーム等を見たり、聞いたりする時間を決めていますか？
- 自分の考えをしっかりと伝えられるように、家でも気を付けていますか？